

凡事徹底・活力・環境

五小だより

<http://5s.hvama.andteacher.jp>

令和 6年 4月 30日

No.2

東大和市立第五小学校

TEL (042)562-1981

FAX (042)590-7022

～偶然～

校長 平松 新太郎

新年度が始まって約3週間が過ぎました。子供たちは新しい環境にも慣れ、元気に学校生活を送っています。保護者、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今回のアウトプットは私の2つの経験を紹介します。

4/1（月）に、出張で市役所に行った時のことです。少し早めに着くと、たまたま「東大和元気ゆうゆう体操」が行われる時間でした。皆さん、「東大和元気ゆうゆう体操」をご存じですか？「東大和元気ゆうゆう体操」とは、屋外でも屋内でも実施できる介護予防体操だそうです。運動不足にならないように、無理のない範囲で体を動かすことを目指しているそうです。私も教育委員会の方々と参加させていただきましたが、確かに無理なく、しかし、日常生活にあまりない動きも取り入れられており、清々しい気持ちになりました。とても良い経験でした。

4/20（土）21（日）には、東大和南公園で第10回「うまかんべえ～祭」が開催されました。私は4/20（土）に行きました。五小の子供たちや保護者の方々、地域の方々にもたくさんお会いしました。

「うまかんべえ～祭」とは、地域住民の交流と東大和の魅力ある食文化を活かし、地域社会を元気にすることを目的に開催されるお祭りだそうです。「うまかんべえ～」とはおもてなしの意味を含んだ言葉だそうです。自慢の料理を勧め、「美味しいからどうぞ召し上がれ」という意味だそうです。料理のおいしさだけでなく、古着やおもちゃ、骨とう品他、多くの出店があり、地域同士の繋がりに活気とパワーをもらいました。とても良い経験でした。

さて、私が経験したこの2つ、私にとって前者は偶然参加できたものであり、後者は意図的に参加したものです。学校生活も同様、意図的な教育場面と偶然の場面があります。

現代は予測不可能な変化の多い時代と言われています。変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代とも言われています。計画的に物事を進めることが難しい時代とも言えます。これは、計画的に物事を進めることの否定ではありません。目標を立てることやそれに向けて計画を立てること（意図的な取組）に加え、偶然をよい偶然（よい経験）に変えていくことが大切だと考えられます。

そのためには、好奇心、冒険性、楽観性、持続性、柔軟性等がキーワードとして挙げられます。

五小でも、これらのキーワードを大切に教育活動に取り組もうと考えています。ゴールデンウィークの過ごし方は様々ですが、私も、これまで以上に偶然→よい経験を意識して過ごしてみようと思います。

※「東大和元気ゆうゆう体操」「うまかんべえ～祭」とも東大和市のホームページで紹介されています。